

令和7年9月16日

3年生保護者の皆様

刈谷市立刈谷東中学校長
高畑泰志

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月17日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましては、7月に個人票をお渡ししましたのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省及び刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、刈谷東中学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国語	<ul style="list-style-type: none">・全体的によく定着しており、十分満足できる状況である。・観点別では、「思考・判断・表現」「知識・技能」のいずれも高い。・特に、「読むこと」の力が高く、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えたり、表現の効果について、根拠を明確にして考えたりすることができている。・今後は、国語の授業で、文章を書いた後に読み手の立場に立って、表記を確かめて語句の選び方や使い方など、文章を整えることができる力をさらに伸ばしていきたい。
数学	<ul style="list-style-type: none">・全体的によく定着しており、十分満足できる状況である。・観点別では、「思考・判断・表現」「知識・技能」のいずれも高い。・特に、数量を文字を用いた式で表すことや、必ず起こる事柄の確立について理解することができている。
理科	<ul style="list-style-type: none">・全体的によく定着しており、満足できる状況である。・特に、科学的な追究を通してまとめたものを他者が発表する場面において、追究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを記述できた生徒が多かった。・今後は、理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用したり、これまでに学習した知識、技能をもとに考えたりする力を伸ばしていきたい。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none">・人が困っているときは、進んで助けているという生徒や人の役に立つ人間になりたいと感じている生徒がとても多かった。・「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と感じている生徒が多かった。・学級で学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさ生かして解決方法を決めていると答えた生徒が多かった。・休日の家庭での学習時間が、全国平均を上回っている生徒が多かった。・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると答えた生徒が多かった。・数学の授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役立つと答えた生徒が多く、数学の勉強が得意だと感じている生徒も多かった。・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると感じている生徒の割合は全国平均より下回っていた。・学習の場で効果的に ICT 機器を活用するとともに、情報モラルの意識を高め、使い方や約束事を今後もしっかりと学習させたい。

*無回答率が全国平均より少なく、前向きに取り組もうとする姿勢がうかがえました。

【個人票の見方等につきまして質問がありましたら、担任までご相談ください。】